

駐日米国大使館
大使 ジョン・V・ルース 殿
TEL:03-3224-5913
FAX:03-3224-5290

抗議と要請

2011年3月8日
衆議院議員 社民党 照屋 寛徳
100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2
衆議院第二議員会館 519 号室
TEL:03-3508-7069 FAX:03-3508-3849

大使におかれましては、日々、日米の友好親善と両国間の良好な外交関係樹立の為に活躍の事と存じます。

さて、本日は、3月7日付の地元二紙(「沖縄タイムス」「琉球新報」)が大々的に報道しております米 국무省 日本部長 ケビン・メア氏の大学生に対する講演内容について、一人のウチナーンチュとして、一人の沖縄選出国會議員として、強く抗議の意を込めた文書を送付致します。

もうすでに、ケビン・メア氏の発言内容については、大使も十分にご承知の事と思えます。結論を先に申し上げますと、メア氏の発言は、ウチナーンチュを蔑視し、故意に事実を歪曲する許し難いものです。結果として、ウチナーンチュの尊厳を傷付け、沖縄を軍事植民地扱いする暴言です。

ケビン・メア氏は、在沖総領事の頃も、侮辱的で傲慢な言動に終始しており、沖縄県民の輦蹙をかっておりました。現在、 국무省の要職にありながら、「沖縄の人は、日本政府に対するごますりとゆすりの名人だ」「・・・日本人は合意文化をゆすりの手段に使う」などと言う発言は、断じて容認できません。

よって、ケビン・メア氏を即刻解任し、謝罪を促すよう、貴殿から 국무省に上申するよう強く求めます。